

## 研修医・指導医リレーエッセー①⑦



## 犬も歩けば棒に当たる

岡山中央病院 初期研修医 小花 浩樹

岡山県医師会報をお読みの皆さん、こんにちは。岡山中央病院初期研修医2年目の小花浩樹（おばな・ひろき）と申します。私は東京都葛飾区出身で、高校生までは東京で暮らしておりました。高校卒業後、縁もゆかりもない山陰、鳥取大学獣医学科での6年間を経て、岡山大学医学部の2年次に学士編入学し、今に至ります。一応、獣医師免許も持っていますが、獣医師として働いた経験はないペーパー獣医師です。

岡山中央病院での初期研修も残すところ数カ月となりました。今では、すっかり病院に馴染んできたように思いますが、実のところ、もともとは岡山市内の他の病院での研修を希望しておりました。ご縁がなく岡山中央病院で研修させていただく運びとなりましたが、当時は目論見通りにことが進まず、参ったなあ。と思ったことを覚えています。そうして始まった岡山中央病院での初期研修でしたが、蓋を開けてみれば望外に私に合った環境で、実りの多い初期研修生活を送らせていただいております。岡山中央病院は市内の他の臨床研修病院と比較すると小規模ですが、それ故に先生方やスタッフの皆さんは数少ない研修医を気にかけてくださり、いつも助けていただいております。加えて、岡山中央病院は志望科である泌尿器科の症例が豊富で手術用ロボットhinotoriもあり、経験を積むには大変に恵まれた環境です。泌尿器科の先生方には手取り足取り指導していただき、大変ありがたく思っております。今ではマッチングが希望通りにいかなかったことが、却って良かったのかもなあ。と感じています。選べなかった道を進んだ先は分からないので何とも言えませんが、人生なんとなく上手いこといくようにできていると思います。一度は獣医師の道を選んだはずが、いつの間にか医師になっていた経験を経て、あんまり先のことをアレコレ考えても全然その通りに進まないのでは仕方ないな。とは感じていましたが、一層その思想が補強されたように思います。

表題にもしましたが、「犬も歩けば棒に当たる。」という諺があります。この諺には、「フラフラしていると不運な痛い目に会うぞ。」というネガティブな解釈だけでなく、「動き回っていれば幸運に巡り合える。」というポジティブな解釈もあるそうです。これまでの一貫性のない人生を振り返ると、聡明な人間達のように長期的なビジョンに沿った人生プランを遂行できるほど、私は賢くないようです。それでも、その都度なんとなく気になる道を進んでいくと、思いがけない幸運にありついてきたように思います。今後も変に賢ぶって貴重な機会を逃すことのないよう、知能よりも嗅覚を頼りに生きていこうと思います。

とはいえ、初期研修の修了後は岡山大学の泌尿器科後期研修プログラムへ進むことを決めており、さすがに泌尿器科医としてキャリアを積んでいくのだろうと現在は思っています。お読みの方の中には、今後お世話になる先生もいらっしゃるかと思います。その際には、どうぞよろしくお願いいたします。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。



日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会会場前で（右から3人目が筆者）